

# ニセコ町農業の概要について



ニセコ町農政課

# ニセコ町の概要

人口：5,032人(うち外国人住民541人※約30～35カ国)

世帯：2,753世帯 ※2024年9月末

面積：197.13km<sup>2</sup>

(田畑28.35km<sup>2</sup>、宅地2.38km<sup>2</sup>、山林原野132km<sup>2</sup>他)

予算：66.9億円(令和6年度一般会計当初予算規模)

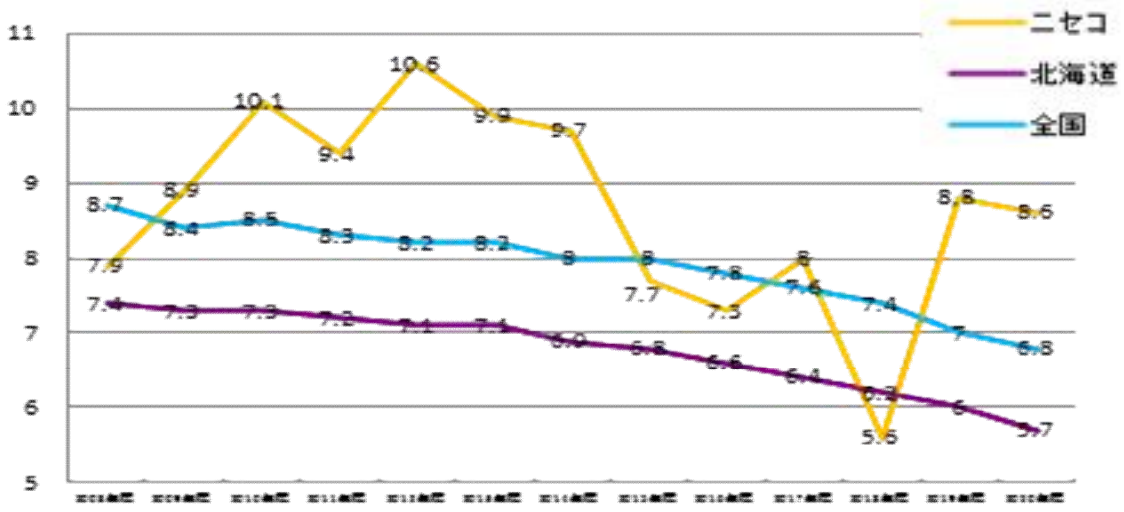
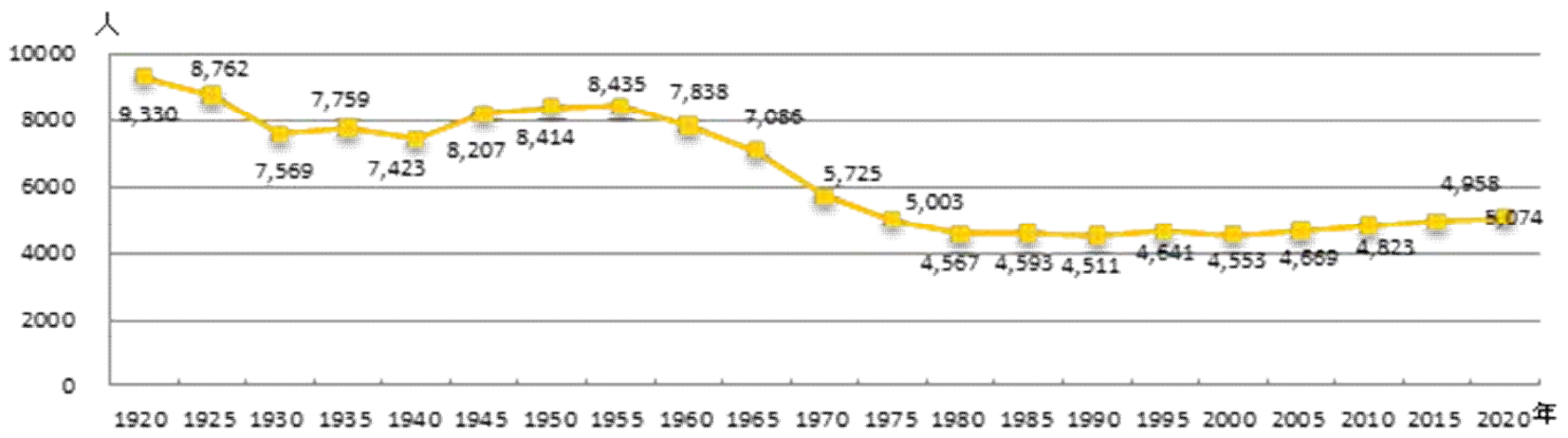
職員：約100名

「ニセコ」はアイヌ語で「深山にあって川岸にかぶさるように出ている崖」のこと  
昭和39年に町名変更(旧名称：狩太町)



# 人口動態

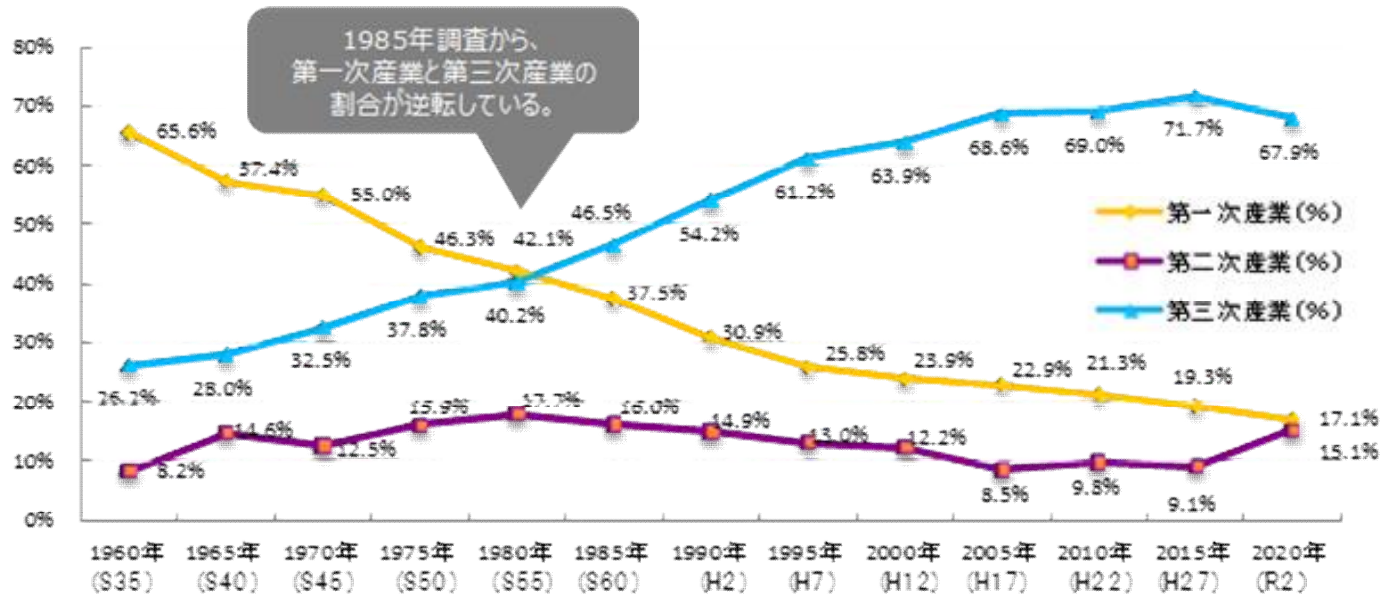
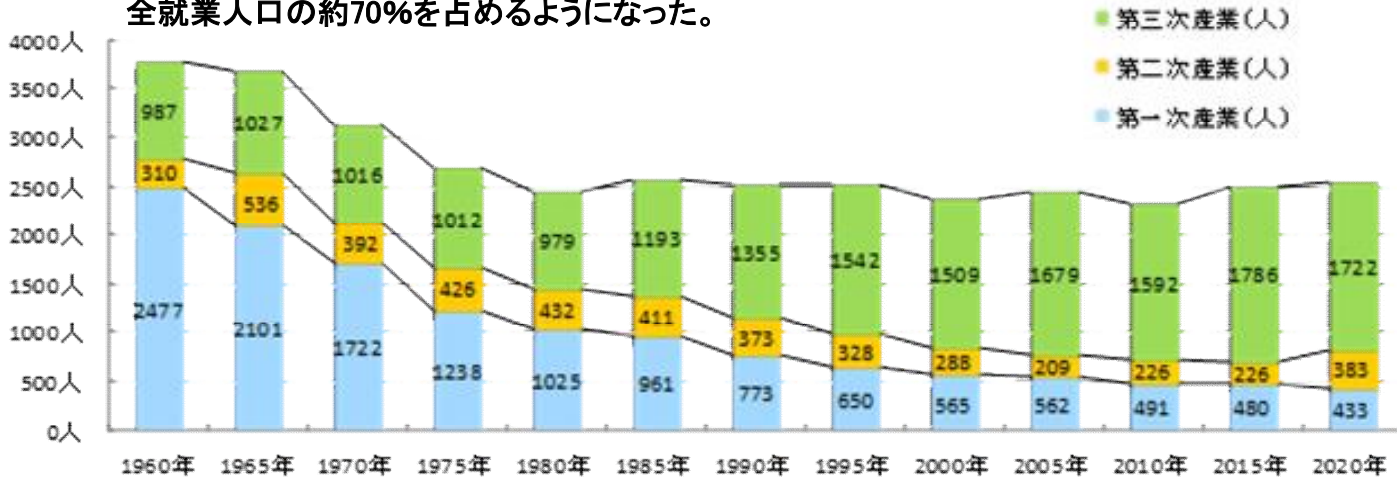
1920年より1940年までは減少したが、戦後一時増加に転じた。しかし、全国的に過疎化が顕著化し始めた1960年頃から再び減少し始め、1980年には1920年の半分以上に落ち込んだ。以降、横ばい状態が続いていたが、2000年以降、多くの市町村が人口減少する中、増加してきている。



普通出生率は、人口千人に対し子どもが何人生まれたかという数値である。ニセコは継続して増加傾向にあり、2012（平成24）年度に10.8に達した。北海道や全国との数値と比較しても、ニセコ町の出生率が高く、子どもの数が増えていることがわかる。

# 産業別人口比率の推移

農業を中心とする第一次産業は年々減少している。それに対して1980(昭和55)年まで横ばいであった第三次産業が1985(昭和60)年から増え始め、2015(平成27)年には全就業人口の約70%を占めるようになった。



## ニセコ町農業の概況

- ニセコ町の“農業力”は  
132戸の農家が、約2,100畝の田畑から、20億円程度の生産

項目	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
農家戸数(戸)	256	203	171	150	146	132
経営耕地(㌦)	2,389	2,164	2,191	2,198	2,212	2,084
1戸当たりの経営規模	9.3	10.7	12.8	14.7	15.1	15.8
農業粗生産額(百万円)	2,934	2,560	2,360	2,290	2,150	2,040

(センサス、農林水産統計年報より)

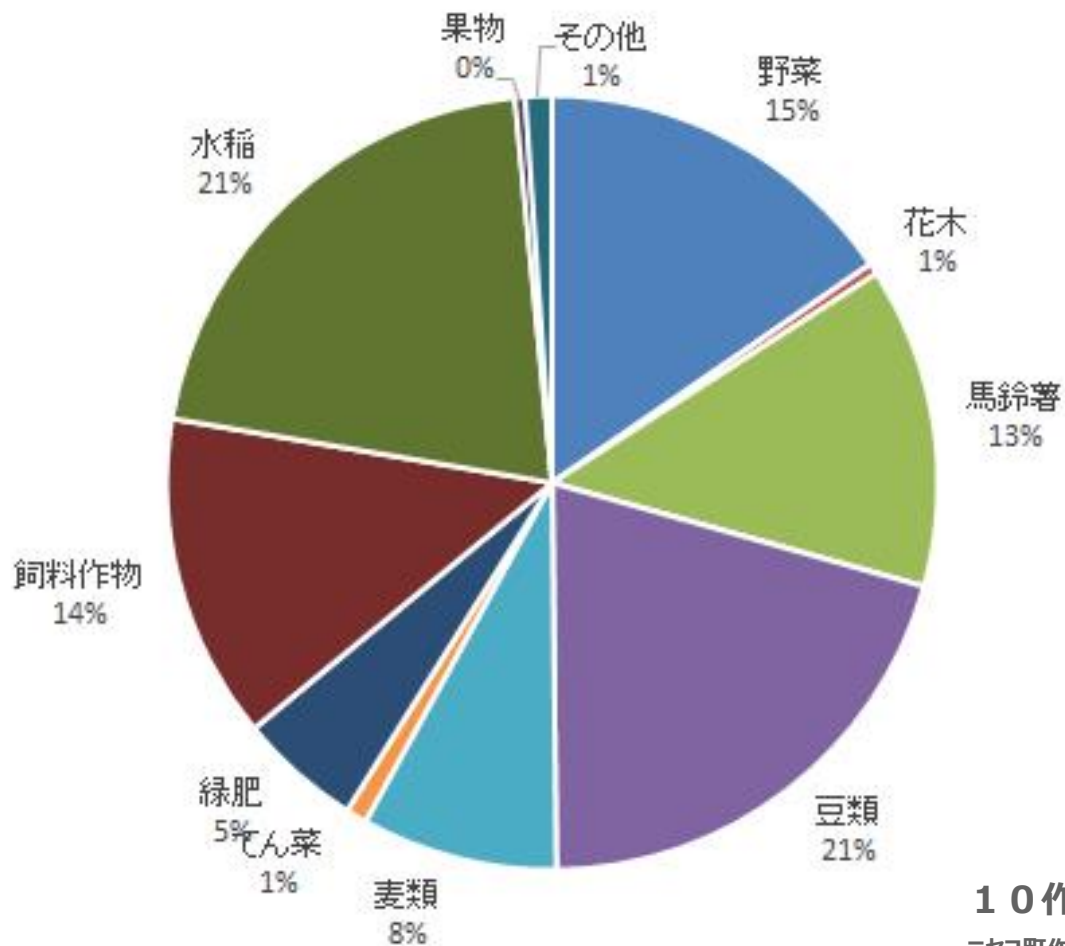
- 農業所得を主とする農家が多い(専業・1種兼業農家:94.0%)  
専業農家57.6%、第1種兼業農家36.4%、第2種兼業農家6.0%
- JAの広域合併(1997年に8農協が合併)  
農産物の産地表示が「ニセコ」から「ようてい」へ

1戸あたり経営面積が小規模

※ 1戸あたり経営面積  
北海道 28.6ha  
ニセコ町15.8ha

(2020年)

# ニセコ町主要作物の作付面積



10作物の作付面積1,277 h a

ニセコ町作付け動向調査【2024（令和5年）年町農政課調】



# 農業の現状と課題

- 低迷する農業所得
  - 市場価格の低迷・米の生産調整
  - 定着しない高収益作物
  - 資材、肥料、飼料の高騰
- 労働力の減少
  - 進む高齢化
  - 担い手不足
- 懸念される農地利用
  - 停滞する農地の流動
  - 農地より高価な山林、原野
- 農業機械への投資
  - 進まない共同利用(生産組織)
  - 労働力不足による機械化



国営緊急農地再編整備事業ニセコ地区

事業期間 2014(平成26)年度～2027(令和9)年度

区画整理 1,490ha

予定事業費 17,500百万円

自動操舵システム 57台(30戸)

ロボットトラクタ 2台

セクションコントロール可能な防除機 1台

直進アシスト機能付き田植機 2台

農業用ドローン(農薬散布用) 6台

餌寄せロボット 1台

搾乳ロボット 2台





- イエスクリーン農業の実践
  - 農業者のイエスクリーン米の実践
  - あいがも米などの取組み
  - 雪氷倉庫(環境対策)での保管

【ニセコ町での取組み】

○JAようてい水稻生産組合ニセコ支部

米 31戸(R4:269.4ha作付)

○ニセコビュープラザ直売会ニセコクリーン農業研究会

メロン、アスパラ、カボチャ、トマト、ミニトマト、馬鈴薯

キャベツ、大根(露地春撒き)、大根(露地夏撒き)

ブロッコリー



# ニセコ町の産業連携





## 道の駅「ニセコビュープラザ」直売所

- 観光客と農産物直売
- 地産地消(ペンションやホテル)
- 顔の見える農業(作る→売る)
- 農家女性や高齢者のやりがい創出



2023(令和5)年度

直売所売上 約3億3千万円

販売者数 約21.6万人



# 農産物加工の促進

- 地産地消の推進
- 六次産業化の推進
- 農商工連携の推進



# 今後の課題と進むべき方向

- さらなる連携強化(地域間・産業間)  
いかに地域の総合的な魅力を伝えることができるか
- 担い手の確保(後継者及び新規就農)と婚活
- ニセコとしての産地ブランド化
- 農業者自ら考える農業の実践への支援
- 環境配慮型循環型農業の確立
- 販路拡大へ向けて





# La villa LUPICIA

紅茶のルピシア、本社はニセコ町



※地場産品の活用による産業振興  
※ブランド力向上の相乗効果



# 八海山 ウイスキーニセコ蒸留所



- ※地場産品活用による産業振興
- ※ブランド力向上の相乗効果